



オーストラリア

西シドニー大学短期英語研修プログラム 体験談

所属：B 類英語コース

留学時の学年：2 年

留学期間：2025 年 9 月 7 日～2025 年 9 月 27 日

【プログラム内容と参加理由】

このプログラムでは、西シドニー大学語学研修学校に通い、英語のスピーキングやライティングのスキルを高めるための授業を受けることが出来ます。放課後を活用してシドニー市内を回るツアーなども実施され、授業外でも様々な経験をすることが出来ました。

自分がこのプログラムに参加した理由は、教育実習に行くにあたり、海外に留学した経験を持っていた方が有利であると考えたからです。自分にとってこれが初めての海外渡航だったのと、家庭の事情で長期留学に参加することが出来なかったため、短期留学を選択しました。また、日頃から英語のスピーキング力を向上させたいという思いを抱いていたため、英語話者が多いオーストラリアを留学先に選びました。

【西シドニー大学での授業】

西シドニー大学の語学研修学校では、休日を除き毎日 4 時間の授業がありました。クラスは EAP1~5 の 5 段階に分かれており、初日に行われる Placement Test で自分のレベ

ルに合ったクラスに割り振られるため、無理なく授業に取り組むことが出来ました。授業内容は、英語のプレゼンテーションのやり方や英文法の解説等、自分たちにとってこれまでに習ったことのある内容が多かったですが、教師は常に英語で話していたため、説明を聞いているだけで多くの英語に触れる機会が得られました。また、授業内で英文法の説明を受けた際、「この文法は英語ではこのように説明するのか」という新たな発見があり、日本語との説明方法の違いにも気付くことが出来ました。

自分のクラスには、中国やサウジアラビアからの留学生が多く在籍しており、自分たちの母国文化を紹介するプレゼンテーションやグループワークは、異文化理解を深めるうえで貴重な経験となりました。

【ホームステイ体験と休日の活動】

研修中は、ホームステイ先で生活しました。自分の受け入れ先は、シドニー郊外のConcordという地区に住んでいる一家で、イタリア人のホストファザー、中国人のホストマザー、そして3人の娘たちが温かく出迎えてくれました。多文化共生で知られるオーストラリアらしく、自分のホストファミリーも多様性に富んだ家庭でした。ホストマザー自身もかつて留学生としてオーストラリアを訪れた経験があり、その経験を踏まえて生活面を手厚く支えてくれました。食事はイタリア料理や中国料理を中心でしたが、レバノン料理や日本の寿司なども振る舞ってくれた為、毎日さまざまな国の料理を味わうことができました。また、ステイ先の近くに住む父方の親族と交流する機会もあり、第二外国語として履修しているイタリア語の知識を生かして、積極的にコミュニケーションを取ることが出来ました。

休日は、同じくこのプログラムに参加している英語科の仲間たちと観光に行ったり、ホストファミリーに海やショッピングモールに連れて行ってもらったりしました。店員さんとのちょっとしたやり取りであっても英語を使う貴重な機会となり、現地の生きた英語に触れる良い経験となりました。



【研修で学んだこと】

この研修を通して、多様な人々と関わることの重要性や、恥じらいを捨てて自ら積極的に声をかける姿勢の大切さを学びました。自分は内向的な性格であり、普段は人との関わりを避ける傾向がありました。留学先においては、道順を尋ねたりバスの行き先を確認したりするなど、自ら声をかけざるを得ない場面が多く存在しました。3週間という短い期間でしたが、他者からチャンスを与えられるのを待つのではなく、自ら行動し成長の機会を見出し、それを掴み取ることの重要性を痛感しました。

